

科目名 (英)	職業人教育 (Professionals Education)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 金曜4限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	実習に向けて日誌の書き方、職場での振る舞い等を再度確認し、実際の指導案等の作成、ロールプレイを通して現場を知る。							
到達目標	指導案作成とロールプレイを通して、実習に対しての自信をもつ。							
評価方法と基準	レポート課題 70% 出席 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/9	講義	キャリアセンターの講義	就職活動について理解する
2	4/16	講義	キャリアセンターの講義	就職活動について理解する
3	4/23	講義	キャリアセンターの講義	就職活動について理解する
4	5/7	講義	キャリアセンターの講義	就職活動について理解する
5	5/14	演習	指導案作成のチェック	指導案 3～5 歳児各 3 枚程度
6	6/18	演習	指導案ロールプレイ①	指導案 3～5 歳児各 3 枚程度
7	6/25	演習	指導案ロールプレイ②	指導案 3～5 歳児各 3 枚程度
8	7/2	演習	指導案ロールプレイ③	指導案 3～5 歳児各 3 枚程度
9	7/2	演習	指導案ロールプレイ④	指導案 3～5 歳児各 3 枚程度
10	7/30	演習	ロールプレイの反省とまとめ	指導案 3～5 歳児各 3 枚程度
11	9/10	演習	実習日誌の確認・お礼状作成	配布プリントの理解をする
12	9/17	演習	お礼状の作成	配布プリントの理解をする
13	10/8	講義	日本人の人間関係①	配布プリントの理解をする
14	10/15	講義	日本人の人間関係②	配布プリントの理解をする
15	10/22	講義	日本人の人間関係③	配布プリントの理解をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Hand-book of Life Style 他				

科目名 (英)	職業人教育 (Professionals Education)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 金曜1限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	基本的な日本人の人間関係の関わり方より日本の社会構造と職場に行った時の人間関係を知る。							
到達目標	日本人の人間関係の関わり方を知り、保育所等の指導案をもとにしたロールプレイで自信をもつ。							
評価方法と基準	レポート、ロールプレイ 70% 出席 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	11/19	講義	日本人の人間関係④	配布プリントの理解をする
17	11/26	講義	日本人の人間関係⑤	配布プリントの理解をする
18	12/6	講義	日本人の人間関係⑥	配布プリントの理解をする
19	12/13	講義	日本人の人間関係⑦	配布プリントの理解をする
20	12/17	講義	日本人の人間関係⑧	配布プリントの理解をする
21	12/20	演習	指導案ロールプレイ①	指導案3～5歳児各3枚程度
22	1/14	演習	指導案ロールプレイ②	指導案3～5歳児各3枚程度
23	1/17	演習	指導案ロールプレイ③	指導案3～5歳児各3枚程度
24	1/17	演習	指導案ロールプレイ④	指導案3～5歳児各3枚程度
25	1/21	演習	実習中のまとめ①	実習の振り返りができる
26	1/28	演習	実習中のまとめ②	実習の振り返りができる
27	2/4	演習	実習中のまとめ③	実習の振り返りができる
28	2/4	演習	実習中のまとめ④	実習の振り返りができる
29	2/18	演習	実習中のまとめ⑤	実習の振り返りができる
30	2/18	演習	実習中のまとめ⑥	実習の振り返りができる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Hand-book of Life Style 他				

科目名 (英)	保育・教職実践演習 (Professionals Education)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分	通年
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	実際の指導案等の作成、ロールプレイを通して現場を知る。							
到達目標	指導案作成とロールプレイを通して、実習に対する自信をもつ。							
評価方法と基準	レポート課題 70% 出席 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5/6	演習	幼稚園実習の事前準備、指導案の確認	実習準備ができる
2	6/10	演習	幼稚園実習指導案のロールプレイ	実習準備ができる
3	6/17	演習	保育所実習の事前準備、指導案の確認	実習準備ができる
4	6/24	演習	保育所実習指導案のロールプレイ	実習準備ができる
5	7/29	演習	3年次の各実習の振り返りと今後の課題	実習準備ができる
6	10/4	演習	まとめ作成	実習の振り返りができる
7	10/4	演習	まとめ作成	実習の振り返りができる
8	11/29	演習	まとめの発表会と今後の課題の確認	実習の振り返りができる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
保育・教職実践演習				

科目 (英)	児童文化 (Child Culture)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	安藤 正樹
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期 木曜・4限
教員の略歴	尚綱学院大学子ども学科の「児童文化」20年以上担当、小学校教諭13年間							
授業の学習内 容	児童文化財【伝承あそび】、童謡、年中行事等の成立背景や意味内容について深く学び、保育現場で教授する基礎を学ぶ。							
到達目標	児童文化財【伝承あそび】及び童謡、年中行事等の背景、意義について学び、保育現場で活用できる能力を身に付ける。							
評価方法と基準	演習実技(60%)、学習態度(20%)、授業の中のレポート・感想20%)で評価する。							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1	4月8日	講義	児童文化、児童文化財の歴史と種類について理解する		学習内容を理解する			
2	5月6日	講義、演習	基本、ゆり2つ8つができるようになる		学習内容を理解する			
3	6月24日	講義、演習	絵本の種類と形態、効果的な読み方ができるようになる		学習内容を理解する			
4	6月24日	講義、演習	手遊びの種類と形態、実際の手遊びができるようになる		学習内容を理解する			
5	7月29日	講義、演習	パネルシアターの実際、ミュージックパネルシアターを演じることができる		学習内容を理解する			
6	7月29日	講義、演習	手作りおもちゃの実際、折り紙を折れるようになる		学習内容を理解する			
7	9月9日	講義、演習	お手玉大会にて各自の技術を競う		学習内容を理解する			
8	9月16日	講義、演習	まとめ、保育の中での生かし方と保育者の役割をふり返る		学習内容を理解する			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								
児童文化								

科目名 (英)	乳児保育 I (Infant Care)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	粉川 妙子
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(2)	開講区分	前期 月曜 曜日・時限 1限
教員の略歴	助産師、保健師、看護師、養護教諭 宮城教育大学大学院学校教育専攻修士課程修了 東北大学大学院歯学研究科歯科学専攻博士課程修了						
授業の学習 内容	現代社会における保育所が抱える諸問題を乳児保育の視点から考察し、乳児の発達とそれに合った保育のあり方について知ることが出来る。3歳未満児の成長発達・保育の内容・実践の方法を学ぶ。						
到達目標	1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割について理解する。 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や「地域の関係機関との連携について理解する。 ※「乳児保育とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。						
評価方法と基準	期末試験60%、課題提出20%、受講態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月5日	講義	オリエンテーション 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷	配付資料の通読
2	4月5日	講義	乳児保育の役割と機能	配付資料の通読
3	4月19日	講義	乳児保育における養護及び教育	配付資料の通読
4	4月26日	講義	乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	配付資料の通読
5	4月26日	講義	保育所における乳児保育	配付資料の通読
6	4月26日	講義	保育所以外の児童福祉施設(乳児院等)における乳児保育	配付資料の通読
7	4月26日	講義	家庭的保育等における乳児保育	配付資料の通読
8	6月21日	講義	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	配付資料の通読
9	6月21日	講義	3歳未満児の生活と環境	配付資料の通読
10	6月21日	講義	3歳未満児の遊びと環境	配付資料の通読
11	6月21日	講義	3歳以上児の保育に移行する時期の保育	配付資料の通読
12	6月28日	講義	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり	配付資料の通読
13	6月28日	講義	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士における配慮	配付資料の通読
14	6月28日	講義	試験	配付資料の通読
15	6月28日	講義	乳児保育における連携・協働(職員間・保護者・地域の関係機関等) まとめ	配付資料の通読
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ はじめて学ぶ乳児保育 改訂版				

科目名 (英)	卒業制作 (Graduate Work)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	増永 那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期水曜 曜日・時限 1・2限
教員の略歴	仙台市公立保育士(2年)、認定こども園保育教諭(4年)、仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	・「産学連携」「地域貢献」をキーワードに、将来保育者として実践力を高められるような活動を通して、努力し、成果を発表する。							
到達目標	・3年間取り組んできた「産学連携教育」の集大成を発表することができる。 ・JESC発表会に向けて的確な資料作り、発表ができる。							
評価方法と基準	・授業態度(50%) ・出席(20%) ・発表態度(30%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/7	講義・演習	オリエンテーション	
2	10/7	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
3	10/14	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
4	10/14	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
5	10/21	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
6	10/21	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
7	10/28	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
8	10/28	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
9	11/18	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
10	11/25	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
11	12/2	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
12	12/9	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
13	12/16	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
14	1/13	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
15	1/13	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ はじめて学ぶ乳児保育 改訂版				

科目名 (英)	卒業制作 (Graduate Work)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	増永 那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期水曜1・ 曜日・時限 2限
教員の略歴	仙台市公立保育士(2年)、認定こども園保育教諭(4年)、仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	・「産学連携」「地域貢献」をキーワードに、将来保育者として実践力を高められるような活動を通して、努力し、成果を発表する。							
到達目標	・3年間取り組んできた「産学連携教育」の集大成を発表することができる。 ・JESC発表会に向けて的確な資料作り、発表ができる。							
評価方法と基準	・授業態度(50%) ・出席(20%) ・発表態度(30%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	1/20	演習	園でのオペレッタ披露に向けて練習し、表現力を高めることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
17	1/20	演習	資料をまとめることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
18	1/27	演習	資料をまとめることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
19	1/27	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
20	2/3	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
21	2/3	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
22	2/10	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
23	2/10	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
24	2/10	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
25	2/15	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
26	2/15	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
27	2/17	演習	発表に向けて原稿や抄録作りができる	必要な資料を準備し、発表練習をする
28	2/17	演習	発表に向けて原稿や抄録作りができる	必要な資料を準備し、発表練習をする
29	2/17	演習	発表に向けて原稿や抄録作りができる	必要な資料を準備し、発表練習をする
30	2/17	講義	発表準備を行う	発表準備を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano prectical skill)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 4	開講区分	前期水曜2限
教員の略歴	(公)音楽の力による復興センター東北歌カフェピアノ担当							
授業の学習内容	子ども向けの歌の簡易伴奏法や、保育実践において必要な技術を習得する。							
到達目標	習熟した音楽技術を用いて音楽性を高める努力をしつつ、保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識や技術を習得する。							
評価方法と基準	授業の受講姿勢(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/28	演習	オリエンテーション (授業の進め方の説明)	歌う、弾くの反復練習
2	4/28	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
3	5/12	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
4	5/12	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
5	6/9	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
6	6/9	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
7	6/16	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
8	6/16	演習	保育所実習課題曲の準備	歌う、弾くの反復練習
9	6/23	演習	保育所実習課題曲の準備	歌う、弾くの反復練習
10	6/23	演習	保育所実習課題曲の準備	歌う、弾くの反復練習
11	6/30	演習	実習のまとめ	歌う、弾くの反復練習
12	6/30	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
13	7/28	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
14	7/28	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
15	9/1	演習	試験	歌う、弾くの反復練習
準備学習		時間外学習		
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など				

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano prectical skill)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 4	開講区分	後期 水曜2限
教員の略歴	(公)音楽の力による復興センター東北歌カフェピアノ担当							
授業の学習内容	子ども向けの歌の簡易伴奏法や、保育実践において必要な技術を習得する。							
到達目標	習熟した音楽技術を用いて音楽性を高める努力をしつつ、保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識や技術を習得する。							
評価方法と基準	授業の受講姿勢(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	9/1	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
17	9/22	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
18	9/22	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
19	9/29	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
20	9/29	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
21	10/6	演習	幼稚園実習課題曲のための準備	歌う、弾くの反復練習
22	10/6	演習	幼稚園実習課題曲のための準備	歌う、弾くの反復練習
23	10/6	演習	幼稚園実習課題曲のための準備	歌う、弾くの反復練習
24	10/6	演習	実習のまとめ	歌う、弾くの反復練習
25	10/13	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
26	10/13	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
27	10/20	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
28	10/20	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
29	11/24	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
30	11/24	演習	試験・まとめ	歌う、弾くの反復練習
準備学習		時間外学習		
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など				

科目名 (英)	ふれあい実習 (Friendship Training)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	増永那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年 (前期 水曜3・4限)
教員の略歴	・仙台市公立保育園保育士(2年) ・認定こども園保育教諭(4年) ・仙台医健・スポーツ専門学校こども保育科専任教員							
授業の学習内容	・2年間の学びを活かして、保育実習や教育実習に必要な準備物を理解し、制作する。 ・保育の引き出し(ピアノ、手遊び、絵本など)を増やし、現場ですぐ実践できるようになる。							
到達目標	・2年間の学びを活かして、保育実習や教育実習に必要な技術の習得を目標とする。 ・実習に向けて計画的に準備ができるようになる。							
評価方法と基準	・課題レポート・・・20% ・授業態度・意欲・・・50% ・出席・・・30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/7	講義	施設種別について学ぶことができる	特に自分の実習先の施設について調べておく
2	4/7	講義	施設種別について学ぶことができる	特に自分の実習先の施設について調べておく
3	4/21	講義	自分の行く施設種別について理解できる	実習先施設にオリエンテーションの電話を入れる
4	4/21	講義	施設実習へ臨む姿勢について理解することができる	特に自分の実習先の施設について調べておく
5	4/28	講義	施設実習の日誌の書き方が分かる	実習先施設にオリエンテーションの電話を入れる
6	4/28	演習	施設実習に向けて日誌を記入することができる (事前情報)	日誌について理解する
7	5/12	演習	施設実習に向けて準備をすることができる	
8	5/12	演習	施設実習に向けて準備をすることができる	
9	5/19	オンライン授業	日誌の用語の使い分けができるようになる	日誌について理解する
10	5/19	オンライン授業	施設実習に向けて日誌を記入することができる (資料を基に)	日誌について理解する
11	6/9	演習	施設実習を終えて個別面談をし、振り返りができる	
12	6/9	演習	保育実習に向けて準備ができる	実習先保育園にオリエンテーションの電話を入れる
13	6/16	講義	保育実習に向けて準備ができる	
14	6/16	講義	保育実習に向けて準備ができる	
15	6/23	演習	施設実習を終えて個別面談をし、振り返りができる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド、施設実習パーフェクトガイド				

科目名 (英)	ふれあい実習 (Friendship Training)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	増永 那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年 (後期 水3・4限)
教員の略歴	・仙台市公立保育園保育士(2年)・認定こども園保育教諭(4年)・仙台医健・スポーツ専門学校こども保育科専任教員							
授業の学習内容	・2年間の学びを活かして、保育実習や教育実習に必要な準備物を理解し、制作する。 ・保育の引き出し(ピアノ、手遊び、絵本など)を増やし、現場ですぐ実践できるようになる。							
到達目標	・2年間の学びを活かして、保育実習や教育実習に必要な技術の習得を目標とする。 ・実習に向けて計画的に準備ができるようになる。							
評価方法と基準	・課題レポート・・・20% ・授業態度・意欲・・・50% ・出席・・・30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	6/23	演習	施設実習報告会のスライドを作成できる	スライド作成
17	6/30	演習	保育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
18	6/30	演習	保育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
19	7/7	オンライン授業	保育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
20	7/7	オンライン授業	保育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
21	7/28	演習	保育実習を終えて個別面談をし、振り返りができる	必要な教材を制作する
22	7/28	演習	保育実習報告会のスライドを作成することができる	必要な教材を制作する
23	8/25	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
24	8/25	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
25	9/1	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
26	9/1	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
27	9/8	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
28	9/8	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
29	9/15	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
30	9/15	演習	教育実習に向けて準備ができる	必要な教材を制作する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド、施設実習パーフェクトガイド				

科目名 (英)	保育ゼミ (Childcare Seminar)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	増永 那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 水曜1限
教員の略歴	仙台市公立保育士(2年)、認定こども園保育教諭(4年)、仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	・「産学連携」「地域貢献」をキーワードに、将来保育者として実践力を高められるような活動を通して、努力し、成果を発表する。							
到達目標	・3年間取り組んできた「産学連携教育」の集大成を発表することができる。 ・JESC発表会に向けて的確な資料作り、発表ができる。							
評価方法と基準	・授業態度(50%) ・出席(20%) ・発表態度(30%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/22	講義・演習	オリエンテーション	
2	9/29	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
3	10/6	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
4	10/13	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
5	10/20	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
6	11/24	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
7	11/30	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
8	11/30	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
9	12/7	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
10	12/7	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
11	12/14	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
12	12/14	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
13	12/21	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
14	12/21	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
15	1/18	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	卒業制作 (Graduate Work)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	増永 那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 水曜1限
教員の略歴	仙台市公立保育士(2年)、認定こども園保育教諭(4年)、仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	・「産学連携」「地域貢献」をキーワードに、将来保育者として実践力を高められるような活動を通して、努力し、成果を発表する。							
到達目標	・3年間取り組んできた「産学連携教育」の集大成を発表することができる。 ・JESC発表会に向けて的確な資料作り、発表ができる。							
評価方法と基準	・授業態度(50%) ・出席(20%) ・発表態度(30%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	1/18	演習	テーマに沿った準備ができる	発表に向けたスケジュールを立て、計画的に準備をする
17	1/25	演習	資料をまとめることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
18	1/25	演習	資料をまとめることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
19	2/1	演習	資料をまとめることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
20	2/1	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
21	2/8	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
22	2/8	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
23	2/15	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
24	2/15	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
25	2/16	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
26	2/16	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
27	2/16	演習	発表に向けてスライド制作をすることができる	反省・研鑽を繰り返し、協力して物事を進めることができる
28	2/16	演習	発表に向けて原稿や抄録作りができる	必要な資料を準備し、発表練習をする
29	2/16	演習	発表に向けて原稿や抄録作りができる	必要な資料を準備し、発表練習をする
30	2/16	講義	発表準備を行う	必要な資料を準備し、発表練習をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	実習対策講座 (Civil Servants Measures Course)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	奥山栄子
学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (2単位)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜2限
教員の略歴	幼稚園教諭として勤務、副園長経験。専門学校、短期大学にて実習指導を担当。						
授業の学習内容	①保育・教育実習に臨むにあたり必要な準備(保育に関する知識・技術・実践等)を整える。 ②保育実習・教育実習と密接に関連しながら、保育・教育について総合的に理解する。 ③保育現場において実習生に必要とされる知識や技術を習得し、実習で活用できる実践力を身に付ける。 以上を踏まえ、本授業においては、施設実習および教育実習Ⅱ(幼稚園)に向け、各実習の意義と基本姿勢、実習日誌や指導案の書き方、保育技術(作成・演習等)、実習後の振り返り等について、保育現場レベルでの指導を行う。						
到達目標	①施設実習・教育実習Ⅱの目標を達成するために必要な事前準備を整え、保育者の役割と専門性について具体的に理解する。 ②保育現場で求められる保育技術を習得する。 ③これまでの実習経験を踏まえ、保育に関して課題を持つ。						
評価方法と基準	①各授業への取り組み・態度・振り返り等 40% ②課題(実習日誌・保育指導案・教材・まとめ等)の作成・提出・内容等 40% ③演習発表(実践・振り返り等) 20% 上記の各項目が50%以上、かつ総合して60点以上を単位認定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月9日	講義	施設実習の実習内容を理解できる	教科書やプリントをノートにまとめること
2	4月16日	講義	施設の種別を理解できる	施設の特徴をまとめておくこと
3	4月23日	演習	実習施設を調べ、実習内容を理解できる	自身の実習先の内容を調べまとめること
4	4月23日	演習	さまざまな施設を理解することができる	他の種別についてまとめること
5	5月7日	演習	教材研究(保育教材の制作)①	自己の実習先に必要な教材を完成させること
6	5月7日	演習	教材研究(保育教材の制作)②	教材を完成させ、演じ方を練習すること
7	5月14日	講義・演習	実習前の準備を行うことができる	実習に必要な書類や教材の準備を整えること
8	6月18日	講義・演習	施設実習を振り返る①	施設実習の学びをまとめること
9	6月25日	講義・演習	施設実習を振り返る②	施設実習の学びをまとめ完成させること
10	7月2日	講義・演習	実習前の準備を行うことができる	実習に必要な書類や教材の準備を整えること
11	7月30日	講義・演習	保育実習を振り返る	保育実習の学びをまとめ完成させること
12	9月10日	演習	実習日誌の書き方を理解できる(幼稚園Ⅱ)	実習日誌の書き方を復習すること
13	9月17日	演習	全日実習の指導案を立案することができる①	指導案を立案すること
14	9月24日	演習	全日実習の指導案を立案することができる②	指導案を完成させ模擬保育の練習をすること
15	9月24日	演習	模擬保育を通して指導案を理解できる	模擬保育の準備・練習・振り返りをする
準備学習 時間外学習			指示された課題のみならず、関連する科目・内容を振り返り、自主的に実習準備を進めること	
【使用教科書・教材・参考書】 守巧・小櫃智子編著『施設実習パーフェクトガイド』わかば社、2014年 『幼稚園教育要領(文部科学省)・保育所保育指針(厚生労働省)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(総務省)』フレーベル社、2018年				

科目名 (英)	実習対策講座 (Civil Servants Measures Course)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	奥山栄子
学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (2単位)	開講区分	後期 金曜2限
教員の略歴	幼稚園教諭として勤務、副園長経験。専門学校、短期大学にて実習指導を担当。						
授業の学習内容	①教育・保育実習に臨むにあたり必要な準備(保育に関する知識・技術・実践等)を整える。 ②保育実習・教育実習と密接に関連を持ちながら、教育・保育について総合的に理解する。 ③保育現場において実習生に必要とされる知識や技術を習得し、実習で活用できる力を身に付ける。 以上を踏まえ、本授業においては、保育実習Ⅱ(保育所)に向け、年齢ごとの実習日誌や保育指導案の書き方、保育演習技術(作成・演習等)、実習後の振り返りについて、保育現場レベルでの指導を行う。						
到達目標	①保育実習Ⅱの目標を達成するために必要な事前準備を整え、保育者の役割と専門性について具体的に理解する。 ②保育現場で求められる保育演習技術を習得する。 ③これまでの実習経験を踏まえ、保育に関して課題意識を持つ。						
評価方法と基準	①各授業への取り組み・態度・振り返り等 40% ②課題(実習日誌・保育指導案・教材・まとめ等)の作成・提出・内容等 40% ③演習発表(実践・振り返り等) 20% 上記の各項目が50%以上、かつ総合して60点以上を単位認定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	演習	教材研究(保育教材の制作①)	教材制作に必要な材料を準備すること
2	10月1日	演習	教材研究(保育教材の制作②)	教材を完成させ、演じ方を練習すること
3	10月8日	演習	保育演習技術をまとめる(演習ノートの作成・完成)	演習ノートを用意し、手遊び等をまとめ、練習しておくこと
4	10月15日	演習	保育演習技術を発表する	仲間と共有した演習技術をまとめること
5	10月22日	演習	実習前の準備を行うことができる	実習に必要な書類や教材の準備を整えること
6	11月19日	演習	教育実習Ⅱを振り返る①	教育実習の学びをまとめること
7	11月26日	演習	教育実習Ⅱを振り返る②	教育実習の学びをまとめ、完成させること
8	12月17日	演習	教育実習Ⅱを振り返る③(エピソード)	実習のエピソードをまとめ記録すること
9	12月24日	講義・演習	自己課題を明確化することができる(保育実習)	保育実習の反省をまとめておくこと
10	12月24日	講義・演習	自己課題を明確化することができる(教育実習)	教育実習の反省をまとめておくこと
11	1月7日	演習	全実習を振り返る(グループディスカッション)	実習の反省や課題をまとめておくこと
12	1月7日	演習	教材研究(保育教材の制作)①	教材制作に必要な材料を準備すること
13	1月14日	演習	教材研究(保育教材の制作)②	教材を完成させ演じ方を練習すること
14	1月21日	演習	教材研究(保育教材を使って実演する)③	演じ方を練習すること
15	1月28日	演習	全実習のまとめをする(実習レポートの記入)	反省や課題を踏まえ実習レポートを完成させること
準備学習 時間外学習			指示された課題のみならず、関連する科目・内容を振り返り、自主的に実習準備を進めること	
【使用教科書・教材・参考書】 小櫃智子編著『幼稚園・保育所・認定こども園 パーフェクトガイド』わかば社、2017年 『幼稚園教育要領(文部科学省)・保育所保育指針(厚生労働省)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(総務省)』フレーベル社、2018年				

科目名 (英)	各種特化科目 子どもイラスト法 (Child illustration method)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3	担当教員	佐久間誉之
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期・木曜日 1～2限 曜日・時限
教員の略歴	専門学校にてデザインを専攻、フリーランスイラストレーターとして活躍。						
授業の学習内容	絵を描くために必要は技術と基礎を理解する必要があります。鉛筆の持ち方、画材の使い方、定規の使い方、形の捉え方、動植物、人物の描き方などがあります。図画工作や造形表現の科目との関係性が深く相乗的な効果があります。幼稚園で楽しく笑顔で絵を描けるようになってもらうために、一人ひとりに寄り添い、理解しやすい内容まで描き方を噛み砕き授業を行います。						
到達目標	絵を描くために必要な基本的な要素(人、物、動植物、風景など)の習得する。 描く対象物をシンプルにとらえ、思い描くイメージを絵として落とし込む事が出来るよう制作実習を行う。 ①対象物をシンプルに捉え描くことができる。②動物を描くことができる。③植物を描くことができる。④風景を描くことができる。⑤グリーティングカードやストーリー性のある一枚の絵を描くことができる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(10%) ・授業課題のクオリティ(20%) ・最終日のテストによる評価(70%)評価方法は①～⑥を表現し描けているかで評価をつけます。 						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4/15	講義と演習	絵を描く為に必要な知識と画材を把握できる。		
2	4/15	講義と演習	(目標①) モノをシンプルに捉える事ができる。		描画復習
3	4/22	講義と演習	(目標③) 人をシンプルに捉える事ができる。		描画復習
4	4/22	講義と演習	(目標③) 人をテーマにした絵を描く事ができる。		描画復習
5	5月13日	オンライン講義と演習	(目標②) 植物や昆虫をシンプルに捉える事ができる。		描画復習
6	5月13日	オンライン講義と演習	(目標②) 植物や昆虫をテーマにした絵を描く事ができる。		描画復習
7	6/17	講義と演習	(目標④) 食べ物をシンプルに捉える事ができる。		描画復習
8	6/17	講義と演習	(目標④) 食べ物をテーマに絵を描く事ができる。		描画復習
9	6/24	講義と演習	(目標⑤) 陸の動物をシンプルな形で捉える事ができる。		描画復習
10	6/24	講義と演習	(目標⑤) 陸の動物をテーマに絵を描く事ができる。		描画復習
11	7/29	講義と演習	(目標⑤) 海の生き物をシンプルな形で捉える事ができる。		描画復習
12	7/29	講義と演習	(目標⑤) 海の生き物をテーマに絵を描く事ができる。		描画復習
13	9月9日	講義と演習	(目標⑥) 思い描くイメージを表現できる。		描画復習
14	9月9日	講義と演習	(目標⑥) 思い描くイメージを描く事ができる。		描画復習
15	9月16日	テスト	テスト課題		
準備学習 時間外学習			①～⑥の演習と復習。授業で覚えた技術を忘れないよう反復した復習を行います。		
【使用教科書・教材・参考書】 □					

オリジナル資料を使用いたします。

科目名 (英)	各種特化科目 病児保育 (Sick Childcare)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	粉川 妙子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	助産師、保健師、看護師、養護教諭 宮城教育大学大学院学校教育専攻修士課程修了 東北大学大学院歯学研究科歯科学専攻博士課程修了						
授業の学習内容	病児・病後児に対して適切な保育・看護を実践するために、保育士には一般の保育にプラスして、小児の感染症や病態に関する知識を習得し、個々の状態に合わせた保育の実践について学ぶ。						
到達目標	病児保育について知り、病児保育の重要性を理解することができる。 病児の特徴や小児期に罹患しやすい疾病や症状と看護について理解することができる。						
評価方法と基準	期末試験60%、課題提出20%、受講態度20%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	8/30	講義	病児保育の意義・理念		配付資料の通読
2	8/30	講義	あるべき病児保育のかたち		配付資料の通読
3	8/30	講義	病児保育の遊びについて		配付資料の通読
4	8/30	講義	病児保育における一日の流れ		配付資料の通読
5	9/6	講義	病児保育の心理		配付資料の通読
6	9/6	講義	病児保育におけるコミュニケーション		配付資料の通読
7	9/6	講義	感染予防		配付資料の通読
8	9/6	講義	代表的な子どもの病気		配付資料の通読
9	9/13	講義	基礎的な看護(看病)について		配付資料の通読
10	10/13	講義	リスクマネジメントの基礎①		配付資料の通読
11	10/13	講義	リスクマネジメントの基礎②		配付資料の通読
12	10/13	講義	心配蘇生法、気道異物除去		配付資料の通読
13	10/27	講義	「いのちの教育」健康教育		配付資料の通読
14	10/27	講義	試験		
15	10/27	講義	振り返り、まとめ		
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】 □ 認定病児保育 スペシャリスト試験公式テキスト					

科目名 (英)	各種特化科目 療育指導 (Nursing Leadership)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3	担当教員	田中 公一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 前期 土曜日集中
教員の略歴	東北福祉大学大学院修士課程修了。専門学校・短期大学で保育者養成の専任教員を務める。放課後等デイサービス事業所理事兼務。						
授業の学習内容	ノーマライゼーションからインクルージョンへと社会が変化している昨今において、障がいに対する合理的配慮は誰しものが心得ていなければならない。一方で、療育の分野は子どもの個々のニーズを的確に捉えて発達を支えていかなければならず、より専門的な知識と高い技術が必要とされる。障がいを有していても当たり前前に社会参加ができるよう、それを支える保育者としては、本講義の内容をしっかりと身に付けてほしい。なお、本授業は、社会福祉・障害児保育・保育方法・保育環境など、様々な分野と関連しあっており多角的な視点が要求される。よって、本授業ではアクティブラーニングを実施し、意見交換や議論を活発に行う授業を展開する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・療育や障がい児支援に関する法制度を理解し、その知識を保育現場や保護者支援に活用できる。 ・障がいについて学び、正しい合理的配慮の方法や個々に応じたコミュニケーションをとることができる。 ・療育や障がい児支援の専門的技術を獲得し、障がい児及びその保護者に対して適切な支援が実施できる。 						
評価方法と基準	定期試験60% レポート20% 授業態度20%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月10日	講義	療育の意義や目的について説明できる		
2	4月10日	講義	療育の内容について説明できる		
3	5月15日	オンライン講義	療育を実践する社会資源について説明できる		
4	5月15日	オンライン講義	療育指導を実践する職員について説明できる		次回までに、講義1回目から4回目についてのレポートを作成しておくこと
5	5月15日	オンライン講義	身体障がい児への療育が実践できる		
6	5月15日	オンライン講義	知的障がい児への療育が実践できる		
7	6月26日	オンライン講義	発達障がい児への療育が実践できる		
8	6月26日	オンライン講義	病後児・医療的ケア児への療育が実践できる		次回までに、講義5回目から8回目についてのレポートを作成しておくこと
9	7月31日	講義	障がい児支援に関する法制度について説明できる		
10	7月31日	講義・演習	障がい児の保護者支援が実践できる		
11	7月31日	講義・演習	障がい児の兄弟児支援が実践できる		
12	7月31日	講義	障がい児に関係する地域福祉について説明できる		次回までに、講義9回目から12回目についてのレポートを作成しておくこと
13	8月28日	試験			
14	8月28日	講義・演習	一年間を振り返り、学習内容を文章で表現できる		
15	8月28日	講義・演習	学習内容を発表し、療育の重要性を述べるができる		
準備学習 時間外学習			各日程ごとにレポート準備するので、復習を兼ねて確認し、理解してから次の講義に臨むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】 □					

適宜、担当教員が準備する。

科目名 (英)	各種特化科目 チャイルドケア (Child Care)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	笹氣 真歩
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	アタッチメント協会ベビーマッサージ・ヨガインストラクター、専門学校にてリトミック指導歴15年						
授業の学習内容	3年間学んできたことを活かしつつ、0・1・2歳の保育内容の充実をはかる。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の発達を理解し、子どもに合わせたケアを提供できる。 ・自分で組み立てたカリキュラムをもとに、ティーチング発表することができる。 						
評価方法と基準	授業内評価(出席数・ティーチング実技演習含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月9日	講義・実技	タッチケアとは何か理解する	
2	4月16日	実技演習	ベビーマッサージの演習をする	学んだことを復習する
3	4月23日	実技演習	ベビーマッサージの演習をする	学んだことを復習する
4	5月7日	実技演習	乳幼児向けわらべうたをうたう	学んだことを復習する
5	5月14日	実技演習	こどもヨガとベビーサインについて学ぶ	学んだことを復習する
6	6月18日	実技演習	0～2歳の脳に良い遊びについて学ぶ	学んだことを復習する
7	6月22日	実技演習	乳幼児のモンテッソーリ教育について学ぶ	学んだことを復習する
8	6月25日	実技演習	モンテッソーリ教材をつくる	学んだことを復習する
準備学習 時間外学習			ティーチング発表に向け、制作物など準備学習あり、学んだことを復習する	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
適宜資料を配布する				

科目名 (英)	各種特化科目 音楽療法入門 (Introduction of Music Therapy)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	須佐 凉子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 火曜・2限
教員の略歴	尚綱学院大学女子短期大学部保育専攻科「音楽療法概論」担当(8年間)							
授業の学習 内容	1)本科目では、1年次から2年次までに培った音楽、心理学、表現の基礎力を土台とし、音楽療法の理論と技能を習得する。 2)保育現場における子どもへの発達促進を援助するための音楽療法を学ぶ。							
到達目標	1)音楽は人間にとって根源的なコミュニケーションツールであることを学ぶ。 2)障害児への理解を深める。 3)音楽のもつ働きや力を再確認する。 4)発達に応じた音楽の使い方を学ぶ。 5)言語的、視覚的、身体的プロンプトを学ぶ。 6)音楽の即興性を体験する。							
評価方法と基準	1)レポート 50% 2)実技試験 30% 3)授業に対する積極的参加度20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	8/24	講義と実技	講義に向けての確認、レポートを提出する	次回までにレポート「私の音楽史」
2	8/31	講義と実技	保育に活かす音楽療法を知る 障害児を理解する	レポート提出
3	9/7	講義と実技	音楽療法における音楽の役割を学ぶ① 実技「音楽の即興性」	事前に配布されたプリントを読むこと
4	9/14	講義と実技	音楽療法における音楽の役割を学ぶ② 実技「音楽の即興性」	事前に配布されたプリントを読むこと
5	9/28	講義と実技	実技、表現「声・動き・ダンス」セッション計画を作る	事前に配布されたプリントを読むこと
6	9/28	講義と実技	実技、表現「楽器の応用」「伴奏」セッション計画を作る	事前に配布されたプリントを読むこと
7	10/5	講義と実技	セッション計画に基づき模擬セッションを実施する	セッション使用の歌、伴奏を練習しておく
8	10/12	講義と実技	レポート・理論・実技	各自実技試験曲を練習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 「音楽療法の基礎」音楽之友社 ・ 参考書は適宜授業にて指示する				

科目名 (英)	各種特化科目 幼児安全法 (Infant Safety Act)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	日本赤十字社
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
教員の略歴	日本赤十字社に『授業内容についての実務経験を有する者』という条件付きで派遣を依頼している							
授業の学習内容	幼児の救命救急やけがの手当て、予防法などを学び、支援新資格を取得する							
到達目標	・幼児の救命救急をの知識を身に付け、即戦力となる							
評価方法と基準	授業態度、出席(50%)、試験(50%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月8日	講義・演習	オリエンテーション	
2	4月15日	講義・演習	こどもの救急時の対応について	
3	4月22日	講義・演習	起こりやすい事故とその予防について	
4	4月22日	講義・演習	食物アレルギーについて	
5	希望日	講義・演習	幼児安全法支援員養成講習	幼児安全法支援員養成講習
6	希望日	講義・演習	幼児安全法支援員養成講習	幼児安全法支援員養成講習
7	希望日	講義・演習	幼児安全法支援員養成講習	幼児安全法支援員養成講習
8	希望日	講義・演習	幼児安全法支援員養成講習	幼児安全法支援員養成講習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
こどもの救急ガイドブック、事故防止ハンドブック				

科目名 (英)	各種特化科目 幼児体育指導 (Infant Physical Education)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	公益財団法人 日本幼少年体 育協会
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
教員の略歴	日本幼少年体育協会に『授業内容についての実務経験を有する者』という条件付きで派遣を依頼している							
授業の学習内容	幼児の発育発達の基本知識と適切な運動指導を安全に行える資格を学ぶ							
到達目標	幼児体育指導者検定2級を取得する							
評価方法と基準	資格取得目標							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月25日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
2	9月25日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
3	9月25日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
4	9月25日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
5	9月26日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
6	9月26日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
7	9月26日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
8	9月26日	講義・演習	幼児体育指導者検定	講義内容を復習、実践する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	保育・教職実践演習 (Childcare, Teaching Practice Exercises)		必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	富樫 裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	後期・集 中
教員の略歴	仙台医療福祉専門学校教員・近大非常勤講師・宮城教育大学非常勤講師・幼稚園教諭							
授業の学習内 容	保育者としての必要な知識、技能の習得を確認し、実習を通しての自分の課題について具体的に認識する。 また、保育に関する様々な問題、課題に対しての自分の考えを持ち、グループワーク内でより深めていく。							
到達目標	実習を通して、保育に関する様々な問題・課題に気づき、より深めていく。 読解力を高め、文章表現力を高める。							
評価方法と基準	レポート課題(60%)、各レポート(30%)、授業態度(10%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	12/3	講義	スクーリングのねらいと実習のまとめ	保育現場での知識を深める
2	12/3	講義・演習	子どもを取り巻く社会的環境の変化	保育現場での知識を深める
3	12/3	演習	文章を読み解く表現力(くもの糸)	保育現場での知識を深める
4	12/3	講義・演習	保育者としての使命感と教育的愛情	保育現場での知識を深める
5	12/3	演習	文章を読み解く表現力(走れメロス)	保育現場での知識を深める
6	12/10	講義・演習	保育政策の現代的動向	保育現場での知識を深める
7	12/10	演習	文章を読み解く表現力(賢者の贈り物)	保育現場での知識を深める
8	12/10	講義	これからの日本と保育の課題	保育現場での知識を深める
9	12/10	講義	これからの日本と保育の課題 レポート	保育現場での知識を深める
10	12/10	講義	まとめ	保育現場での知識を深める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 保育・教職実践演習、国語辞典				

科目 (英)	児童文化 (Child Culture)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	安藤 正樹
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期・集中 曜日・時限
教員の略歴	尚綱学院大学子ども学科の「児童文化」20年以上担当、小学校教諭13年間							
授業の学習内 容	児童文化の歴史や概念について理解する。絵本、手遊び、折り紙、お手玉、独楽、パネルシアター等の具体的な教材を通して、児童文化財の役割・意義を理解するとともに、保育の中での児童文化の生かし方・利用の仕方なども学んでいく。							
到達目標	児童文化の歴史や概念、保育内容としての役割・意義を理解する。子どもの暮らしや遊びを豊かに展開することのできる児童文化財について学習を深める。							
評価方法と基準	演習実技(60%)(時間外での体得練習等を含む)、学習態度(20%)、授業の中レポート・感想(20%)で評価する。							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1	9月11日	講義	児童文化財の歴史と種類を理解できる。		実践の復習、次回の準備			
2	9月11日	講義・演習	折り紙遊びの実践ができる。		実践の復習、次回の準備			
3	9月11日	講義・演習	絵本の効果的な読み方ができる。		実践の復習、次回の準備			
4	9月11日	講義・演習	紙芝居の効果的な読み方ができる。		実践の復習、次回の準備			
5	9月11日	講義・演習	パネルシアターの実践ができる。		実践の復習、次回の準備			
6	10月2日	講義・演習	ペープサートの実践ができる。		実践の復習、次回の準備			
7	10月2日	講義・演習	独楽回しの基本を理解できる。		実践の復習、次回の準備			
8	10月2日	講義・演習	独楽回しの多くの技ができる。		実践の復習、次回の準備			
9	10月2日	講義・演習	手づくりおもちゃを作ることができる。		実践の復習、次回の準備			
10	10月2日	講義	保育者の役割をまとめることができる。		実践の復習			
準備学習 時間外学習			それぞれの時間の講義・演習内容を復習し、次回の準備ができる。					
【使用教科書・教材・参考書】								
近畿大学九州短期大学「児童文化」								

科目名 (英)	乳児保育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	粉川 妙子
	(Infant CareⅡ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	助産師、保健師、看護師 宮城教育大学大学院学校教育専攻修士課程修了 養護教諭経験15年以上						
授業の学習内容	3歳未満児の成長発達・保育の内容・実践の方法を学ぶ。						
到達目標	現代社会における保育所が抱える諸問題を乳児保育の視点から考察し、乳児の発達とそれに合った保育のあり方について知ることが出来る。						
評価方法と基準	定期試験60% レポート20% 授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	8月26日	講義	乳児保育の理念と役割について理解する	学んだことを理解する
2	8月26日	講義	乳児保育の現状と課題(保育所、乳児院、家庭的保育など)について学ぶ	学んだことを理解する
3	8月26日	講義	「保育所保育指針」における乳児保育の“ねらい”と“内容”について理解する	学んだことを理解する
4	8月26日	講義	6か月未満児・6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容について学ぶ	学んだことを理解する
5	8月26日	講義	1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容について学ぶ	学んだことを理解する
6	8月27日	講義	2歳児の発達と保育内容を理解する	学んだことを理解する
7	8月27日	講義	乳児保育の実際(保育課程に基づく指導計画の作成と観察・記録など)を理解する	学んだことを理解する
8	8月27日	講義	乳児保育における連携(保護者、乳児を取り巻く関係機関など)を学ぶ	学んだことを理解する
9	8月27日	講義	乳児保育の目標とねらい・基本的生活について理解する	学んだことを理解する
10	8月27日	講義	乳児の病気と特別な配慮を必要とする子どもについて理解する	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
はじめて学ぶ乳児保育 改訂版				

科目名 (英)	子どもの健康と安全 (Children`s Health)		必修 選択	必修	年次	3	担当教員	粉川 妙子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時間
教員の略歴	助産師、保健師、看護師 宮城教育大学大学院学校教育専攻修士課程修了 養護教諭経験15年以上							
授業の学習内容	子どもの健康及び安全にかかわる保健活動の計画及び評価について学び、そして子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考察する。さらに、子どもの疾病とその予防及び適切な対応、救急時の対応や事故防止、安全管理等について具体的事例を基に学ぶ。加えて、現代社会における心の健康問題や地域保健活動等についても理解する。							
到達目標	主に乳児に焦点を当て、子どもの発育の時期に応じた育児に必要な知識や具体的な記述を習得する。子どもの健康増進のための基本的知識や援助、緊急時の応急処置を学ぶ							
評価方法と基準	定期試験60% レポート20% 授業態度20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月2日	講義	乳児の抱き方 人形を使用し抱き方おんぶなどを学ぶ	学んだことを理解する
2	9月2日	講義	排泄 排泄の仕組みと観察の要点 オムツ替えを学ぶ	学んだことを理解する
3	9月2日	講義	衣服 衣服の選び方 着脱の方法	学んだことを理解する
4	9月2日	講義	沐浴実習にて沐浴の方法を学ぶ	学んだことを理解する
5	9月2日	講義	レポートを作成する	学んだことを理解する
6	9月3日	講義	事故防止 心肺蘇生法を学ぶ	学んだことを理解する
7	9月3日	講義	事故防止 レポートを作成する	学んだことを理解する
8	9月3日	講義	外傷 骨折 捻挫の手当 包帯法を学ぶ	学んだことを理解する
9	9月3日	講義	やけど 溺水 熱中症の手当 誤飲・中毒・窒息の対処法を学ぶ	学んだことを理解する
10	9月3日	講義	調乳 ミルクの作り方 調乳器具の消毒方法を学ぶ	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
新・基本保育シリーズ16 子どもの健康と安全				

科目名 (英)	保育実習事前事後指導 I (施設) (Childcare Training Pre-Post Guidance I Facility)	必修 選択	必修・選択必修 選択等	年次	3年	担当教員	前田有秀
学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1単位)	開講区分	前期・ 集中
教員の略歴	①認可保育園保育士(19年) ②尚綱学院大学子ども学類専任教員(保育実習指導歴7年)						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設実習をより良い経験とするため、実習の意義や基本姿勢、施設や利用児(者)への理解が深まるような実習行動及び実習日誌の書き方等について実践的に講義を展開し、実習準備を進めていく。 実習後は施設実習での学びをより深めるため、事後課題をまとめる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習の意義や目的を理解し、望ましい態度や心構えを身に付ける。 各施設の社会的役割、及び保育者の役割や専門性について理解する。 実習の総括と自己評価から、今後の実習に向けての課題を明確にする。 						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 各回の授業への取り組み・態度・振り返り等 40% 課題(実習日誌・保育指導案等)の作成・提出・内容等 40% 実習事後レポート 20% 上記の各項目を総合して60点以上を単位認定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月8日	講義・演習	施設実習の意義・目的・内容について理解できる	テキストの該当する箇所を予習すること
2	5月8日	講義・演習	各施設の種別の特徴を理解できる	テキストの該当する箇所を予習すること
3	5月8日	講義・演習	種別の実習目標と業務内容を理解できる	自分が実習する施設の種別を調べる
4	5月8日	講義・演習	実習日誌の書き方を理解できる	テキストの該当する箇所を予習すること
5	5月8日	講義・演習	実習事前準備と事後課題について理解できる	実習前の注意事項を確認しておく
準備学習 時間外学習			指示された課題のみならず、関連する科目・内容を振り返り、自主的に実習準備を進めること	
【使用教科書・教材・参考書】 □ <ul style="list-style-type: none"> 守巧・小櫃智子編著『施設実習 パーフェクトガイド』わかば社, 2014年 片山紀子編著『新版 保育実習・教育実習の設定保育』朱鷺書房, 2013年 『幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』文部科学省・厚生労働省・総務省, フレーベル社, 2018年 				

科目名 (英)	保育実習事前事後指導Ⅱ (Childcare Training Pre-Post Guidance Ⅱ)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3年	担当教員	前田有秀
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1単位)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	①認可保育園保育士(19年) ②尚綱学院大学子ども学類専任教員(保育実習指導歴7年)						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅱをより良い経験とするため、実習の意義や基本姿勢、実習日誌や指導案の望ましい書き方、設定保育における保育の進め方等が理解できるよう実践的に展開し、実習準備を進めていく。 ・実習後は保育実習Ⅱでの学びをより深めるため、事後課題をまとめる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅱの目標を達成するために必要な事前準備を整える。 ・保育士の役割と専門性を理解し、年齢に応じた保育の進め方を身に付ける。 ・実習の総括と自己評価から、保育士としての課題を明確にする。 						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業への取り組み・態度・振り返り等 40% ・課題(実習日誌・保育指導案等)の作成・提出・内容等 40% ・実習事後レポート 20% 上記の各項目を総合して60点以上を単位認定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月19日	講義・演習	保育所実習Ⅱの意義・目的・目標が理解できる	テキストの該当する箇所を予習すること
2	6月19日	講義・演習	全日実習について理解できる	テキストの該当する箇所を予習すること
3	6月19日	講義・演習	中心活動について理解できる	中心活動の内容を考えておくこと
4	6月19日	講義・演習	保育指導案を理解し立案することができる	テキストの該当する箇所を予習すること
5	6月19日	講義・演習	実習事前準備と事後課題について理解できる	実習前の注意事項を確認しておくこと
準備学習 時間外学習			指示された課題のみならず、関連する科目・内容を振り返り、自主的に実習準備を進めること	
【使用教科書・教材・参考書】 □ <ul style="list-style-type: none"> ・小櫃智子編著『幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド』わかば社, 2017年 ・片山紀子編著『新版 保育実習・教育実習の設定保育』朱鷺書房, 2013年 ・『幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』文部科学省・厚生労働省・総務省, フレーベル社, 2018年 				